

知床ってなに？



知床の見どころ

みなさんは知床をしっかりと見ますか。知床とは、オホーツク海に約七十キロメートルつぎで北海道北東部の半島の先に位置するところですよ。

ここは流水が運んでくるアランクトニを魚が食べ、その魚が川をのぼってヒゲマのえさになるという、海、川、陸にまたがる食物れんさが見られます。また、シマフクロウやシレストコスミシをはじめとした野生の動植物の生態を伝える貴重な場所でもあります。



5年1組 物井美咲
知床の面積は七万千
百ヘクタールです。見どころはクリオネです。しかまクリオネは肉食らしいです。意外ですよ。海には、クリオネ意外にもカマイルカやマッコウクジラ

なぜ選ばれたの？

知床が世界遺産に選ばれた理由は、流水が見られる地いきとして、北半球でも、とも雨にあることと海や陸にくらぶ動物がくりひるける

知床の生き物

知床にはいろいろな生き物がいまいます。海の生き物はヒゲマ、エゾウサギ、エゾシカ、オオワシ、エタキツネなどの動物がいます。

カマイルカ、ミンククジラ、マッコウクジラなどの生き物がいまいます。

編集後記

私は知床を調べて、知床が世界遺産に選ばれた理由、知床の見どころ、知床の動物などいろいろなことをしらべれて楽しかったです。それに、かくしげたので次は本当に知床に行きたいです。